



2017年度プレハブ住宅完工戸数実績及び生産能力調査報告

一般社団法人プレハブ建築協会（会長：芳井敬一 大和ハウス工業㈱代表取締役社長）では、当協会加盟会員に対して、「プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査」を実施しました。

この調査は、プレハブ住宅の完工状況及び生産能力の推移を的確に把握し、プレハブ住宅の基礎資料として広く情報提供するものです。

このほど、2017年度（2017年4月～2018年3月。以下同じ。）の調査結果をまとめましたので、「2017年度プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査報告書」として発表いたします。

調査結果概要は次のとおりです。

1. 総論（本文 P4～5）

2017年度に完工されたプレハブ住宅の総数は159,629戸で、2016年度（168,443戸）に比べて戸数で8,814戸（対前年度比94.8%）の減少となり、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅完工戸数の割合は16.9%（2016年度は17.3%）であった。

2017年度末のプレハブ住宅年間生産能力は291,001戸分で、2016年度に比べて17,310戸分の増加となり、稼働率は54.9%で、前年度と比較して6.7ポイントの減少となった。

2. 構造別完工戸数（本文 P6～7）

構造別でみると、木質系住宅は、18,782戸（対前年度比90.4%）と2年連続の減少となった。

鉄鋼系住宅は、132,681戸（対前年度比94.2%）と7年ぶりの減少となった。

コンクリート系住宅は8,166戸（対前年度比121.2%）と、2年ぶりの増加となった。

それぞれの内訳をみると、木質系住宅は、低層一戸建住宅11,633戸（対前年度比92.3%）、低層共同建住宅6,214戸（同比85.3%）、中高層共同建住宅570戸（同比99.8%）が減少し、中層一戸建住宅365戸（同比112.3%）が増加した。

鉄鋼系住宅は、低層一戸建住宅37,399戸（対前年度比98.7%）、中層一戸建住宅2,325戸（同比98.5%）、低層共同建住宅41,592戸（同比84.6%）、中高層共同建住宅51,365戸（同比99.7%）と、全てが減少した。

コンクリート系住宅は、低層一戸建住宅395戸（対前年度比86.2%）、中層一戸建住宅60戸（同比98.4%）、低層共同建住宅234戸（同比92.5%）が減少し、中高層共同建住宅7,477戸（同比125.3%）が増加した。

3. 階層・建方別完工戸数（本文 P7）

階層別傾向を一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅でみると、一戸建住宅は52,177戸（対前年度比97.2%）で、2010年度から5年連続6万戸以上を維持していたが、2015年度・2016年度に引き続き5万戸台となった。

低層共同建住宅は48,040戸（同比84.7%）で、2期連続の減少となった。

中高層共同建住宅は59,412戸（同比102.4%）で、2012年度から6年連続の増加となった。

4. 賃貸住宅完工戸数（本文 P8）

賃貸住宅のプレハブ住宅完工戸数は91,042戸（対前年度比92.5%）であった。内訳を構造別にみると、木質系2,492戸（同比93.6%）、鉄鋼系85,866戸（同比91.8%）、コンクリート系2,684戸（同比122.6%）となっている。なお、全賃貸住宅着工戸数に対するプレハブ賃貸住宅完工戸数の割合は22.2%であり、前年度から0.8ポイント減少した。

5. 長期優良住宅完工戸数（本文 P10）

長期優良住宅のプレハブ住宅完工戸数は41,789戸（対前年度比98.8%）であった。内訳を構造別にみると、木質系8,494戸（同比91.9%）、鉄鋼系33,249戸（同比100.8%）、コンクリート系46戸（同比78.0%）となっている。また、内訳を建方別にみると、一戸建41,408戸（同比98.8%）、共同建381戸（同比98.7%）となっている。

一戸建住宅について長期優良住宅率（プレハブ住宅完工戸数に占める長期優良住宅の割合）は79.4%であり、前年度より1.4ポイント増加した。

（注1）長期優良住宅とは、「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用出来る住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

6. ZEH（一戸建）完工戸数（本文 P11）

ZEH（一戸建）のプレハブ住宅完工戸数は17,032戸（対前年度比133.3%）であった。内訳を構造別にみると、木質系4,585戸（同比120.7%）、鉄鋼系12,447戸（同比138.6%）、コンクリート系0戸（同比変わらず）となっている。

一戸建住宅について ZEH 率（プレハブ住宅完工戸数に占める ZEH の割合）は、木質系が38.2%（前年度29.4%）、鉄鋼系が31.3%（同22.3%）、全体では32.6%（同23.8%）であった。

（注2）ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

7. 地域別完工戸数（本文 P12～13）

各地域別にみると、その完工状況は大都市および隣接県に集中する傾向に大きな変化はなく、2017年度も関東、中部、近畿の3地方を合計すると、プレハブ住宅総計で77.0%（前年度76.8%）、一戸建住宅が72.2%（同72.7%）、低層共同建住宅が71.6%（同72.3%）、中高層共同建住宅が85.5%（同85.0%）となっている。

都道府県別のプレハブ住宅完工戸数では、東京都が2017年度2万戸台であり、1万戸を超える都道府県は東京都、神奈川県、愛知県、埼玉県、千葉県の5都県である。

参考値ながら、プレハブ住宅完工戸数の全着工新設住宅に対する割合を地域別でみると、中国地方（21.4%）、中部地方（19.0%）、関東地方（18.9%）、東北地方（16.94%）の4地域が全国平均（16.86%）を上回っている。

8. 上位社の完工戸数・シェア（本文 P31）

一戸建住宅、低層共同建住宅、中高層共同建住宅の各部門における上位社のシェアをみると、まず一戸建住宅では、上位10社で99.6%と14年連続で99%台を示し、シェアに大きな変化はない。特にトップグループを形成している上位5社だけで占有率が81.0%とプレハブ住宅の一戸建市場の大部分を占めている。

また、6位から10位の間5社のシェアでは、5社合計で2016年度（20.0%）から1.4ポイント低下して18.6%となった。

低層共同建住宅については、上位5社のシェアは2016年度（90.0%）から0.7ポイント低下して89.3%となった。

中高層共同建住宅については、上位5社のシェアは2016年度（84.2%）から2.3ポイント上昇して86.5%となった。

（調査結果の留意点）

本調査は、住宅の完工時点で捉えているので、国土交通省の「住宅着工統計調査」と調査時点が異なる。従って、全新設住宅着工戸数に対するプレハブ住宅の割合については、便宜上、着工・完工といった調査時点が異なるものを比較して算出している。

以上

<本件に対するお問い合わせ先>

一般社団法人 プレハブ建築協会
広報部（担当：木下、久保田）電話：03-5280-3125
メールアドレス：kouho@purekyo.or.jp

プレハブ住宅完工戸数実績調査 及び生産能力調査報告書

2017 年度実績

2018 年 8 月

調査の概要

① 調査の目的・方法	2
② 調査対象期間	2
③ 調査対象企業数及び回答率	2
④ 用語の解説	2
⑤ その他	3

調査結果分析

① プレハブ住宅完工戸数・プレハブ住宅比率の推移、プレハブ住宅生産能力・稼働率の推移	4
② 構造別・建方別・階層別実績の推移	6
③ 階数別実績と賃貸住宅、サービス付き高齢者向け住宅の実績	8
④ 公的機関発注完工戸数実績	9
⑤ 長期優良住宅実績	10
⑥ ZEH 実績（一戸建）	11
⑦ 都道府県別実績	12
⑧ プレハブ住宅生産能力	19
（参考）災害時における応急仮設住宅の建設	20

資料編

資料 ① 都道府県別、構造別完工（戸数、プレハブ住宅比率）	23
資料 ② 都道府県別、構造別一戸建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	24
資料 ③ 都道府県別、構造別共同建完工（戸数、プレハブ住宅比率）	25
資料 ④ 都道府県別、構造別賃貸住宅完工（戸数、プレハブ住宅比率）	26
資料 ⑤ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（一戸建）（戸数、プレハブ住宅比率）	27
資料 ⑥ 都道府県別、構造別長期優良住宅完工（共同建）（戸数、プレハブ住宅比率）	28
資料 ⑦ 都道府県別、構造別 ZEH 完工（一戸建）（戸数、ZEH 率）	29
資料 ⑧ 都道府県別、構造別公的機関発注完工（戸数）	30
資料 ⑨ 建方別、階層別、構造別 上位社（戸数、シェア）	31
資料 ⑩ プレハブ住宅工場所在地（木質系、鉄鋼系、コンクリート系低層、コンクリート系中高層）	32

1

調査の目的・方法

本報告書は、当協会加盟の会員企業を対象として、プレハブ住宅の普及発展を図るための基礎資料として役立てることを目的に、『プレハブ住宅完工戸数実績調査及び生産能力調査』を実施し、プレハブ住宅の完工状況と生産能力をまとめたものである。従って、国土交通省の「建築着工統計調査」とは調査時点等が異なる。

2

調査対象期間

2017年度(2017年4月～2018年3月)を対象に、2018年4月～6月に『プレハブ住宅完工戸数調査票及び生産能力調査票』を配布、回収し、2018年8月に本報告書としてまとめたものである。

3

調査対象企業数及び回答率

調査対象企業数・回答企業数・回答率のそれぞれは表1の通りである。

表1 調査対象企業数及び回答率

	調査企業数	回答企業数	回答率
2017年度	46社	46社	100%

4

用語の解説

<構造>

プレハブ住宅

住宅の主要構造部の壁、柱、床、はり、屋根又は階段等の部材を機械的方法で大量に工場生産し、現場において、これらの部材により組立建築を行う住宅をいう。

ユニット工法

工場生産したユニットを現場で組み立てて建築するプレハブ工法の一つ。工場外壁から内装、配線など完成に近い状態まで仕上げた箱型のユニットを建設現場へ運び、組み立てて建築するもの。

木質系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

木質系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が木造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

鉄鋼系(非ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法以外のもの。

鉄鋼系(ユニット)

プレハブ住宅のうち、主要構造部が鉄骨造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもので、ユニット工法のもの。

コンクリート系

プレハブ住宅のうち、主要構造部がコンクリート造で、工場生産した外壁、柱、はり等を建設現場で組み立てるもの。

<建 方>

一戸建

建築確認申請上、1棟1戸であるもの。

(店舗、事務所、倉庫、診療所等の各種併用住宅を含む。)

共同建

一戸建でないもの。1棟2戸以上の共同住宅や長屋建を含む。

※二世帯住宅や賃貸併用住宅などで、確認申請上1棟2戸以上のものは共同建を含む。

<その他>

長期優良住宅

「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」に基づき、耐震性、耐久性、省エネルギー性、バリアフリー性等に優れ、維持管理計画が策定された長期にわたり良好な状態で使用できる住宅として所管行政庁から認定を受けた住宅。

ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)

外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備え、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスの住宅。

発注者が公的機関であるもの

公的機関とは民間以外のもの。

※発注者が国、地方公共団体、UR都市機構等独立行政法人、地方住宅供給公社等のもの。

<利用関係>

賃貸住宅

建築主が賃貸する目的で建築するもの。

サ高住 (サービス付き高齢者向け住宅)

「高齢者の居住の安定確保に関する法律」に基づき、「サービス付き高齢者向け住宅」として、都道府県知事等地方公共団体に登録されたもの。

5

その他

2015年度の調査から用語の定義及びルールの明確化等を行ったことにより、時系列統計で2014年度以前と多少不連続なものがある。

総論

(プレハブ住宅完工総戸数の状況)

- 2017年度(2017年4月1日～2018年3月31日)のプレハブ住宅完工総数は、159,629戸。前年度比5.2%の減少となった。
- プレハブ住宅完工戸数の推移は、1993年に過去最高(302,001戸)を達成した後、1997年度から減少基調が続き、2010年度及び2011年度には13万戸台となったが、その後は回復基調となっている。

(プレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合。以下「プレハブ住宅比率」と記述)

- 同年度の全着工戸数(国土交通省 建築着工統計調査 2017年度)に対するプレハブ住宅比率は16.9%と前年度より0.4ポイントの減少となった。
- プレハブ住宅比率は1991年度に21.5%と最高となったものの、その後低下し、2013年度には15.7%となっていたが、2014年に17.8%と上昇した後、それ以降漸減している。

(プレハブ住宅生産能力)

- 2017年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が130工場、生産能力戸数が291,001戸であった。
- 2016年度と比較して、工場数で6工場の増加。生産能力戸数で17,310戸の増加となった。
- 生産能力戸数の構成比を構造別にみると、木質系16.6%、鉄鋼系63.3%、コンクリート系低層0.8%、コンクリート系中高層19.2%であった。

表1 プレハブ住宅完工推移（戸数、プレハブ住宅比率）、プレハブ住宅生産能力推移（戸数、稼働率）

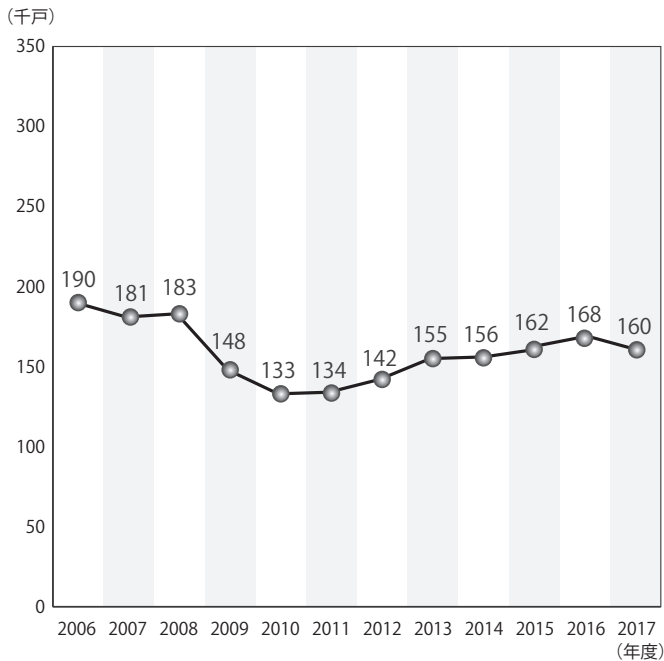
		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
		対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比	対前年度比		
プレハブ住宅完工戸数	A	155,140戸	109.4% ※2	156,327戸	100.8%	162,262戸	103.8%	168,443戸	103.8%	159,629戸	94.8%
全新設住宅着工戸数※1	B	987,254戸	110.6%	880,470戸	89.2%	920,537戸	104.6%	974,137戸	105.8%	946,396戸	97.2%
プレハブ住宅比率	A/B	15.7%	-0.2pt ※3	17.8%	+2.1pt	17.6%	-0.2pt	17.3%	-0.3pt	16.9%	-0.4pt
プレハブ住宅生産能力数	C	255,094戸	107.4%	257,717戸	101.0%	264,526戸	102.6%	273,691戸	103.5%	291,001戸	106.3%
プレハブ住宅生産稼働率	A/C	60.8%	+1.1pt	60.7%	-0.1pt	62.8%	+2.1pt	61.5%	-1.3pt	54.9%	-6.7pt

※1 国土交通省「建築着工統計調査」（2017年度）

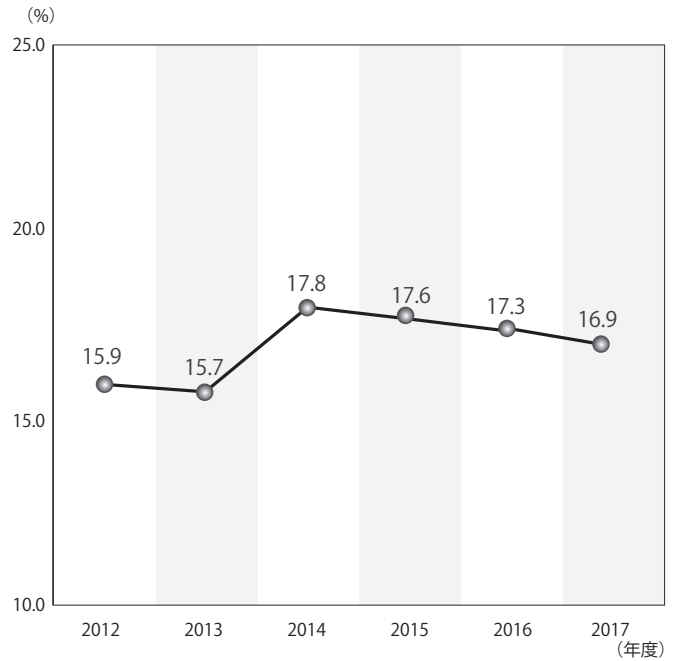
※2 %の数値は今年度戸数÷前年度戸数。

※3 ptの数値は前年度との比率の差をポイントとしてptで表記。

グラフ プレハブ住宅完工戸数



グラフ プレハブ住宅比率の推移



(注) プレハブ住宅比率とはプレハブ住宅完工戸数の全住宅着工戸数に対する割合

(参考) 人口・世帯数推移

	2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	対前年比	
全国の人口※	128,684,379人	-	128,438,013人	99.81%	128,226,483人	99.84%	128,066,211人	99.88%	127,907,086人	99.88%
全国の世帯数※	55,549,282世帯	-	55,952,258世帯	100.73%	56,412,140世帯	100.82%	56,950,757世帯	100.95%	57,477,037世帯	100.92%

(注) 各年1月1日現在の数値である。(外国人を含む)

※「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」(総務省)

(1) 構造別実績の推移

(木質系住宅の状況)

- 2017年度の木質系住宅完工総数は、18,782戸。
- 木質系住宅完工戸数の推移は、2015年度及び2016年度には2万戸を超えたが、2017年度は前年度比9.6%の減少となった。

(鉄鋼系住宅の状況)

- 2017年度の鉄鋼系住宅完工総数は、132,681戸。
- 鉄鋼系住宅完工戸数の推移は、増加傾向が継続していたが、2017年度は前年度比5.8%の減少となった。

(コンクリート系低層住宅の状況)

- 2017年度のコンクリート系低層住宅完工総数は、629戸。前年度比11.5%の減少となった。
- コンクリート系低層住宅完工戸数の推移は、2012年度をピークに、以後減少傾向が続いている。

(コンクリート系中高層住宅の状況)

- 2017年度のコンクリート系中高層住宅完工総数は、7,537戸。前年度比25.1%の増加となった。
- コンクリート系中高層住宅完工戸数の推移は、年度によって増減のバラツキが大きい。

表 2-1 構造別推移 (戸数、前年度比)

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比
木質系	19,239戸	109.4%	17,171戸	89.3%	21,095戸	122.9%	20,782戸	98.5%	18,782戸	90.4%
鉄鋼系	128,841戸	109.1%	133,389戸	103.5%	133,961戸	100.4%	140,924戸	105.2%	132,681戸	94.2%
コンクリート系低層	1,010戸	96.0%	846戸	83.8%	715戸	84.5%	711戸	99.4%	629戸	88.5%
コンクリート系中高層	6,050戸	119.9%	4,921戸	81.3%	6,491戸	131.9%	6,026戸	92.8%	7,537戸	125.1%
合計	155,140戸	109.4%	156,327戸	100.8%	162,262戸	103.8%	168,443戸	103.8%	159,629戸	94.8%

(2) 建方別・階層別実績の推移

(一戸建の状況)

□ 2017年度の一戸建は、52,177戸。前年度比2.8%の減少となった。

□ 一戸建は、2013年度に70,087戸と一時7万戸台を回復したものの、その後は減少に転じている。

(共同建の状況)

□ 2017年度の共同建は、107,452戸。前年度比6.4%の減少となった。

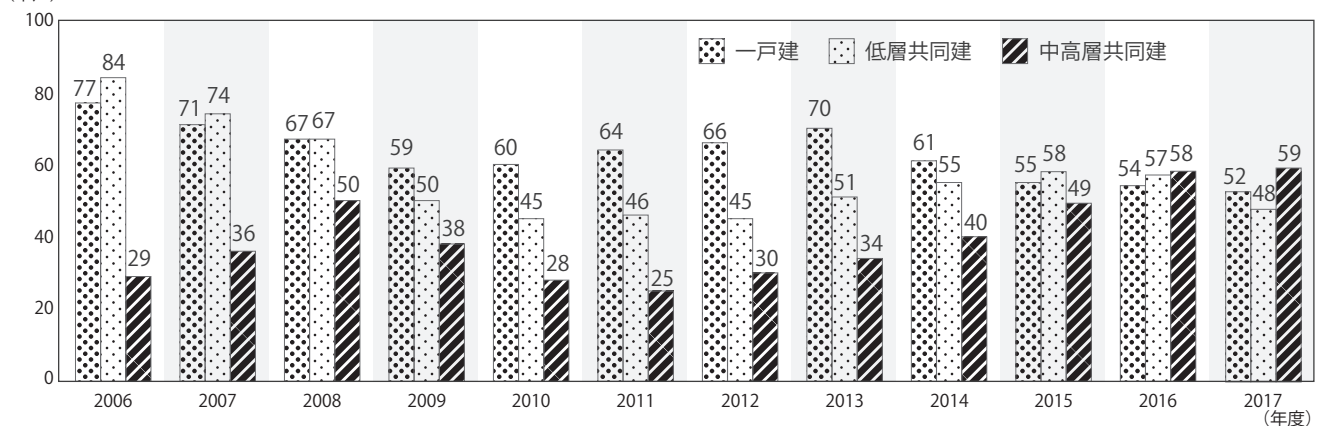
□ 共同建は2011年度以後増加を続けていたが、2017年度は減少となった。

表 2-2 建方別、階層別、構造別完工推移 (戸数、前年度比)

		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度		
		年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	年度	対前年度比	
一戸建	低層	木質系	16,720戸	109.4%	14,256戸	85.3%	12,694戸	89.0%	12,599戸	99.3%	11,633戸	92.3%
		鉄鋼系	46,200戸	104.2%	39,981戸	86.5%	38,209戸	95.6%	37,901戸	99.2%	37,399戸	98.7%
		コンクリート系	795戸	93.6%	558戸	70.2%	467戸	83.7%	458戸	98.1%	395戸	86.2%
		小計	63,715戸	105.4%	54,795戸	86.0%	51,370戸	93.7%	50,958戸	99.2%	49,427戸	97.0%
	中高層	木質系	509戸	109.7%	475戸	93.3%	348戸	73.3%	325戸	93.4%	365戸	112.3%
		鉄鋼系	5,699戸	106.4%	5,488戸	96.3%	2,718戸	49.5%	2,360戸	86.8%	2,325戸	98.5%
		コンクリート系	164戸	90.6%	437戸	266.5%	76戸	17.4%	61戸	80.3%	60戸	98.4%
		小計	6,372戸	106.2%	6,400戸	100.4%	3,142戸	49.1%	2,746戸	87.4%	2,750戸	100.1%
合計		70,087戸	105.4%	61,195戸	87.3%	54,512戸	89.1%	53,704戸	98.5%	52,177戸	97.2%	
共同建	低層	木質系	1,674戸	105.2%	2,037戸	121.7%	7,609戸	373.5%	7,287戸	95.8%	6,214戸	85.3%
		鉄鋼系	48,847戸	111.8%	52,638戸	107.8%	50,583戸	96.1%	49,154戸	97.2%	41,592戸	84.6%
		コンクリート系	215戸	105.9%	288戸	134.0%	248戸	86.1%	253戸	102.0%	234戸	92.5%
		小計	50,736戸	111.6%	54,963戸	108.3%	58,440戸	106.3%	56,694戸	97.0%	48,040戸	84.7%
	中高層	木質系	336戸	137.1%	403戸	119.9%	444戸	110.2%	571戸	128.6%	570戸	99.8%
		鉄鋼系	28,095戸	113.6%	35,282戸	125.6%	42,451戸	120.3%	51,509戸	121.3%	51,365戸	99.7%
		コンクリート系	5,886戸	121.0%	4,484戸	76.2%	6,415戸	143.1%	5,965戸	93.0%	7,477戸	125.3%
		小計	34,317戸	115.0%	40,169戸	117.1%	49,310戸	122.8%	58,045戸	117.7%	59,412戸	102.4%
合計		85,053戸	112.9%	95,132戸	111.9%	107,750戸	113.3%	114,739戸	106.5%	107,452戸	93.6%	
総合計		155,140戸	109.4%	156,327戸	100.8%	162,262戸	103.8%	168,443戸	103.8%	159,629戸	94.8%	

(注) 2015年度調査から「一戸建」「共同建」の定義の明確化等により、2014年度までと分類別の数値に不連続なものがある。

グラフ 階層別・建方別完工戸数



(一戸建の構造別、完工戸数)

- 全体で 52,177 戸のうち、木質系 11,998 戸、鉄鋼系 39,724 戸、コンクリート系 455 戸であった。
□一戸建におけるプレハブ住宅比率は 12.2%。

(共同建の構造別、完工戸数)

- 全体で 107,452 戸のうち、木質系 6,784 戸、鉄鋼系 92,957 戸、コンクリート系 7,711 戸。
□共同建におけるプレハブ住宅比率は 20.7%。

(一戸建の階数・構造別完工戸数)

- 1 階建では、鉄鋼系が 65.0%、木質系が 34.1%と高く、2 階建では、鉄鋼系が 76.7%、3 階建でも、鉄鋼系が 84.5%、4 階建以上では、鉄鋼系が 85.7%を占めている。
□コンクリート系は、各階数ともにシェアは低いが、4 階建以上では 14.3%と高めである。

(共同建の階数・構造別完工戸数)

- 1・2 階建では、鉄鋼系が 86.6%と高く、木質系が 12.9%と続く。
□3～5 階建では、鉄鋼系が 94.7%とほとんどを占める。
□6 階建以上では、コンクリート系が 93.9%とほとんどを占める。

(賃貸住宅の構造別完工戸数)

- 全体 91,042 戸のうち、構造的にみると、木質系 2,492 戸、鉄鋼系 85,866 戸、コンクリート系 2,684 戸。鉄鋼系が 94.3%とほとんどを占める。
□賃貸住宅におけるプレハブ住宅比率は 22.2%。

(サービス付高齢者向け住宅)

- 全体 2,378 戸のうち、構造別には、木質系 0 戸、鉄鋼系 1,957 戸、コンクリート系 421 戸。

表3 構造別、建方別、階数別完工（戸数、プレハブ住宅比率）

構造	建方・階数	一戸建				合計	共同建（長屋建を含む）				総合計	うち 賃貸住宅	うち サ高住
		1階建	2階建	3階建	4階建 以上		1・2 階建	3～5 階建	6階建 以上	合計			
木質系	A	1,471戸	10,162戸	365戸	0戸	11,998戸	6,214戸	570戸	0戸	6,784戸	18,782戸	2,492戸	0戸
	シェア A/D	34.1%	22.5%	13.4%	0.0%	23.0%	12.9%	1.1%	0.0%	6.3%	11.8%	2.7%	0.0%
	うちユニット a	214戸	1,396戸	0戸	0戸	1,610戸	0戸	0戸	0戸	0戸	1,610戸	15戸	0戸
	シェア a/D	5.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
鉄鋼系	B	2,801戸	34,598戸	2,295戸	30戸	39,724戸	41,592戸	51,027戸	338戸	92,957戸	132,681戸	85,866戸	1,957戸
	シェア B/D	65.0%	76.7%	84.5%	85.7%	76.1%	86.6%	94.7%	6.1%	86.5%	83.1%	94.3%	82.3%
	うちユニット b	883戸	10,772戸	437戸	0戸	12,092戸	3,406戸	548戸	0戸	3,954戸	16,046戸	3,819戸	100戸
	シェア b/D	20.5%	23.9%	16.1%	0.0%	23.2%	7.1%	1.0%	0.0%	3.7%	10.1%	4.2%	4.2%
コンクリート系	C	40戸	355戸	55戸	5戸	455戸	234戸	2,285戸	5,192戸	7,711戸	8,166戸	2,684戸	421戸
	シェア C/D	0.9%	0.8%	2.0%	14.3%	0.9%	0.5%	4.2%	93.9%	7.2%	5.1%	2.9%	17.7%
合計	D	4,312戸	45,115戸	2,715戸	35戸	52,177戸	48,040戸	53,882戸	5,530戸	107,452戸	159,629戸	91,042戸	2,378戸
	シェア	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
新設住宅着工戸数※	E					426,369戸				520,027戸	946,396戸	410,355戸	
	プレハブ住宅比率 D/E					12.2%				20.7%	16.9%	22.2%	

※国土交通省「建築着工統計調査」（2017年度）

□公的機関からの発注による完工戸数は、2017年度は875戸であり前年度比51.7%となった。

□構造別にみると、コンクリート系が595戸と、全体の68.0%を占める。鉄鋼系は262戸の29.9%、木質系は18戸の2.1%となった。

□地域毎にみると、東北地方が504戸と全体の57.6%を占めているが、これは前年度に引き続き東日本大震災に係る災害復興公営住宅の完工によるものである。

表 4-1 構造別公的機関発注完工戸数

構造	2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比
	年度	割合	年度	割合	年度	割合	
木質系	76戸	6.4%	46戸	2.7%	18戸	2.1%	39.1%
うちユニット	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
鉄鋼系	482戸	40.9%	468戸	27.7%	262戸	29.9%	56.0%
うちユニット	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
コンクリート系	621戸	52.7%	1,178戸	69.6%	595戸	68.0%	50.5%
合計	1,179戸	100.0%	1,692戸	100.0%	875戸	100.0%	51.7%

表 4-2 地域別公的機関発注完工戸数

地域	2015年度		2016年度		2017年度		対前年度比
	年度	割合	年度	割合	年度	割合	
北海道	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
東北	956戸	81.1%	1,160戸	68.6%	504戸	57.6%	43.4%
関東	7戸	0.6%	302戸	17.8%	134戸	15.3%	44.4%
中部	202戸	17.1%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
近畿	0戸	0.0%	135戸	8.0%	237戸	27.1%	175.6%
中国	14戸	1.2%	73戸	4.3%	0戸	0.0%	0.0%
四国	0戸	0.0%	22戸	1.3%	0戸	0.0%	0.0%
九州・沖縄	0戸	0.0%	0戸	0.0%	0戸	0.0%	-
合計	1,179戸	100.0%	1,692戸	100.0%	875戸	100.0%	51.7%

(注) 地域区分は後述「資料編」参照

□長期優良住宅の2017年度完工総数は41,789戸と、プレハブ住宅完工総数の26.2%を占めている。これは、同年度の全長期優良住宅認定戸数を全住宅着工戸数で割った割合の11.3%と比較して、14.9ポイント高くなっている。また、全長期優良住宅認定戸数に占めるプレハブ住宅の割合は39.2%となっている。

(建方別・構造別の長期優良住宅比率)

□一戸建では、長期優良住宅によるプレハブ住宅完工戸数は41,408戸であり、同年度のプレハブ住宅完工戸数全体の79.4%となり前年度より1.4ポイント増加した、一戸建全体の長期優良住宅比率(24.6%)より54.8ポイント上回っている。うち木質系では70.4%、鉄鋼系では82.9%、コンクリート系では9.5%となっている。また、全長期優良住宅認定戸数(一戸建)に占めるプレハブ住宅の割合は39.4%となっている。

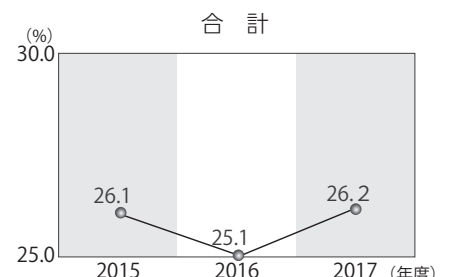
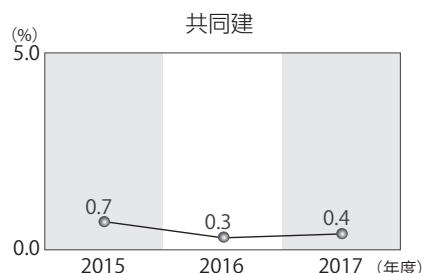
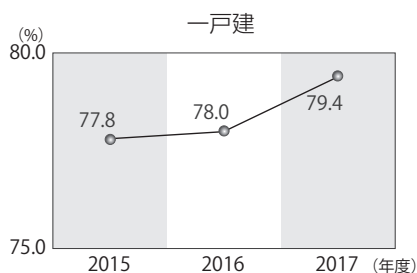
□共同建では、長期優良住宅によるプレハブ住宅完工戸数は381戸であり、同年度のプレハブ住宅完工戸数全体の0.4%となり前年度より0.1ポイント増加した、共同建全体の長期優良住宅比率(0.3%)より0.1ポイント上回っている。うち木質系では0.7%、鉄鋼系では0.4%、コンクリート系では0.04%となっている。また、全長期優良住宅認定戸数(共同建)に占めるプレハブ住宅の割合は24.9%となっている。

表5 長期優良住宅完工(戸数、プレハブ住宅の割合)

		プレハブ住宅完工戸数					合計 G	全国総数 H	全長期優良住宅 に占めるプレハブ 住宅の割合 G/H
		木質系	うち ユニット	鉄鋼系	うち ユニット	コンクリート 系			
一戸建	長期優良住宅 A	8,447戸	1,189戸	32,918戸	9,177戸	43戸	41,408戸	(注1) 105,080戸	39.4%
	プレハブ住宅全体 B	11,998戸	1,610戸	39,724戸	12,092戸	455戸	52,177戸	(注2) 426,369戸	
	長期優良住宅比率 A/B	70.4%	73.9%	82.9%	75.9%	9.5%	79.4%	24.6%	
共同建 (長屋建を含む)	長期優良住宅 C	47戸	0戸	331戸	91戸	3戸	381戸	(注1) 1,531戸	24.9%
	プレハブ住宅全体 D	6,784戸	0戸	92,957戸	3,954戸	7,711戸	107,452戸	(注2) 520,027戸	
	長期優良住宅比率 C/D	0.7%	-	0.4%	2.3%	0.04%	0.4%	0.3%	
合計	長期優良住宅 E	8,494戸	1,189戸	33,249戸	9,268戸	46戸	41,789戸	106,611戸	39.2%
	プレハブ住宅全体 F	18,782戸	1,610戸	132,681戸	16,046戸	8,166戸	159,629戸	946,396戸	
	長期優良住宅比率 E/F	45.2%	73.9%	25.1%	57.8%	0.6%	26.2%	11.3%	

(注1)国土交通省調査(2017年度)の長期優良住宅認定戸数。(注2)国土交通省「建築着工統計調査」(2017年度)の住宅着工戸数。

グラフ 長期優良住宅比率

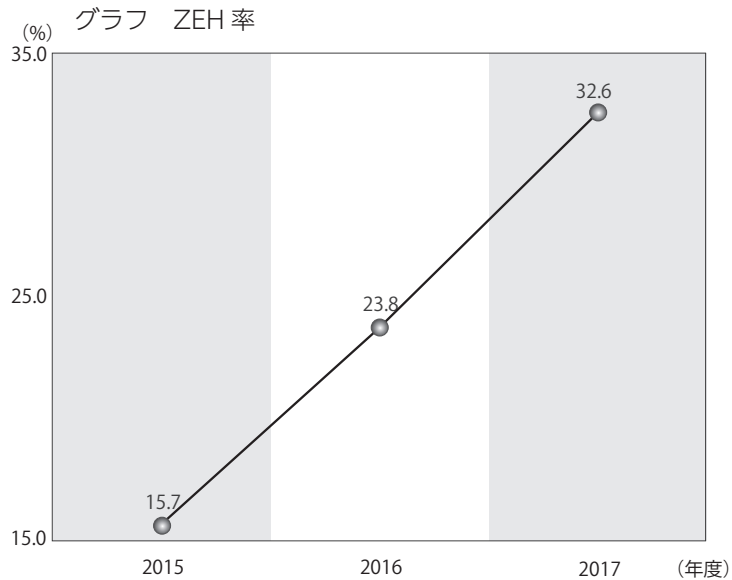


□ZEHの2017年度完工総数（一戸建）は17,032戸で、一戸建プレハブ住宅の32.6%を占めており、前年度より8.8ポイント増加している。

□構造別にZEHの比率をみると、木質系では38.2%、鉄鋼系では31.3%となり、コンクリート系では計上されているものはなかった。

表6 ZEH 完工（戸数、ZEH率）

		木質系		鉄鋼系		コンクリート系	プレハブ住宅完工戸数合計
			うちユニット		うちユニット		
一戸建	ZEH A	4,585戸	916戸	12,447戸	4,440戸	0戸	17,032戸
	プレハブ住宅全体 B	11,998戸	1,610戸	39,724戸	12,092戸	455戸	52,177戸
	ZEH率 A/B	38.2%	56.9%	31.3%	36.7%	0.0%	32.6%



□プレハブ住宅比率の高い都道府県は、一戸建では、中国・東海地域、共同建では北関東地域・山口県などであり、一方、低い都道府県は、一戸建では沖縄県・日本海沿岸地域、共同建では北海道・九州・沖縄県である。プレハブ住宅戸数の多い都道府県は首都圏の1都3県及び愛知県である。

総数

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	山口県	2,310戸	29.3%
	2位	栃木県	3,677戸	27.5%
	3位	福島県	3,847戸	26.8%
	4位	滋賀県	2,330戸	26.0%
	5位	岡山県	3,393戸	25.4%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄県	286戸	1.7%
	46位	北海道	1,616戸	4.4%
	45位	鹿児島県	679戸	6.8%
	44位	秋田県	406戸	10.2%
	43位	徳島県	503戸	10.6%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京都	23,441戸
	2位	神奈川県	14,281戸
	3位	愛知県	12,965戸
	4位	埼玉県	11,094戸
	5位	千葉県	10,132戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄県	286戸
	46位	鳥取県	386戸
	45位	秋田県	406戸
	44位	島根県	439戸
	43位	徳島県	503戸

建方別・一戸建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	岡山県	1,395戸	21.2%
	2位	三重県	1,300戸	20.8%
	3位	静岡県	3,086戸	20.2%
	4位	愛知県	5,933戸	18.6%
	5位	山口県	788戸	18.2%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄県	84戸	2.7%
	46位	青森県	158戸	3.6%
	45位	富山県	161戸	4.3%
	44位	島根県	95戸	5.2%
	43位	石川県	240戸	5.3%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	愛知県	5,933戸
	2位	東京都	3,129戸
	3位	静岡県	3,086戸
	4位	神奈川県	2,982戸
	5位	埼玉県	2,910戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄県	84戸
	46位	島根県	95戸
	45位	鳥取県	138戸
	44位	青森県	158戸
	43位	富山県	161戸

建方別・共同建

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	栃木県	2,274戸	51.5%
	2位	山口県	1,522戸	43.0%
	3位	福島県	2,710戸	42.5%
	4位	茨城県	3,395戸	41.2%
	5位	奈良県	798戸	39.0%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄県	202戸	1.5%
	46位	北海道	521戸	2.3%
	45位	鹿児島県	304戸	7.0%
	44位	長崎県	440戸	11.0%
	43位	福岡県	3,138戸	11.8%

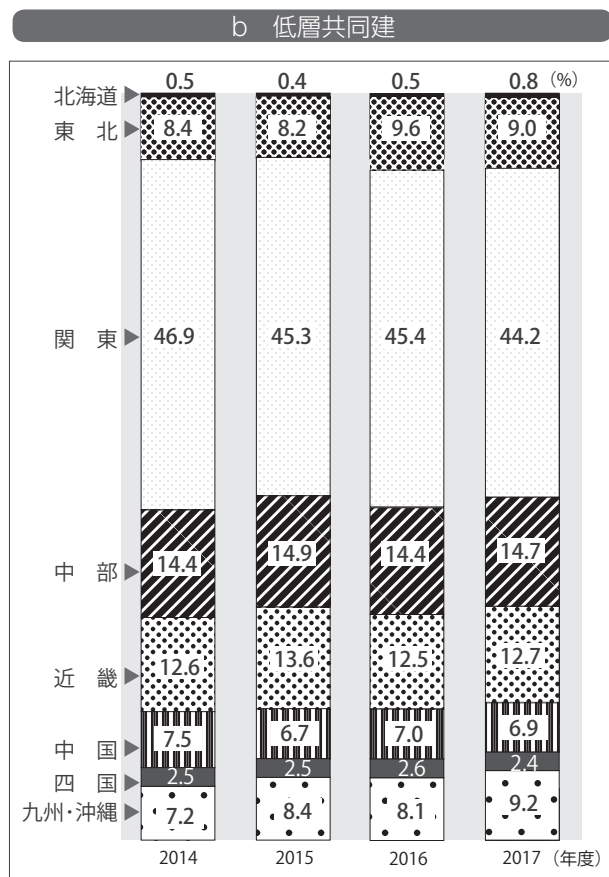
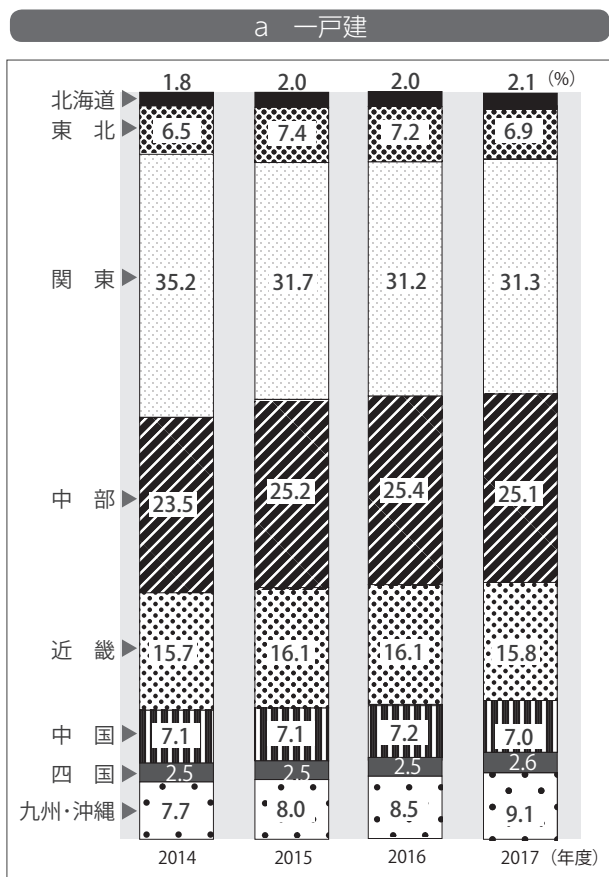
	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京都	20,312戸
	2位	神奈川県	11,299戸
	3位	埼玉県	8,184戸
	4位	千葉県	7,335戸
	5位	愛知県	7,032戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	秋田県	189戸
	46位	沖縄県	202戸
	45位	鳥取県	248戸
	44位	鹿児島県	304戸
	43位	徳島県	305戸

賃貸住宅

	順位	都道府県	戸数	割合
プレハブ住宅比率の「高い」都道府県	1位	栃木県	2,167戸	48.4%
	2位	滋賀県	1,272戸	46.2%
	3位	山口県	1,361戸	45.3%
	4位	茨城県	3,187戸	40.8%
	5位	福島県	2,399戸	40.1%
プレハブ住宅比率の「低い」都道府県	47位	沖縄県	0戸	0.0%
	46位	北海道	518戸	2.5%
	45位	鹿児島県	291戸	7.6%
	44位	長崎県	396戸	11.3%
	43位	福岡県	2,541戸	11.5%

	順位	都道府県	戸数
プレハブ住宅戸数の「多い」都道府県	1位	東京都	14,970戸
	2位	神奈川県	9,654戸
	3位	埼玉県	6,754戸
	4位	千葉県	6,462戸
	5位	愛知県	5,575戸
プレハブ住宅戸数の「少ない」都道府県	47位	沖縄県	0戸
	46位	秋田県	184戸
	45位	鳥取県	246戸
	44位	鹿児島県	291戸
	43位	徳島県	297戸

グラフ プレハブ住宅地域別完工数比率



(注) 地域区分は後述「資料編」参照

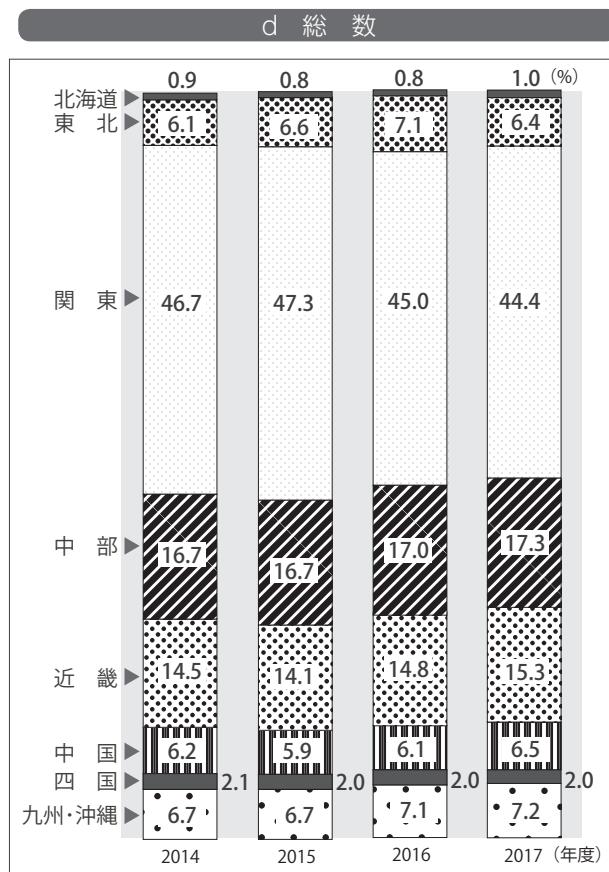
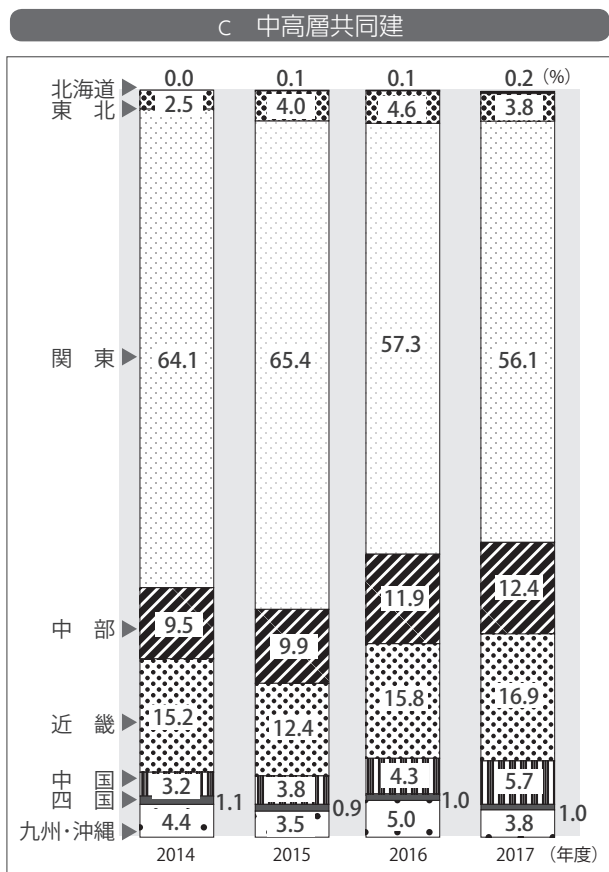
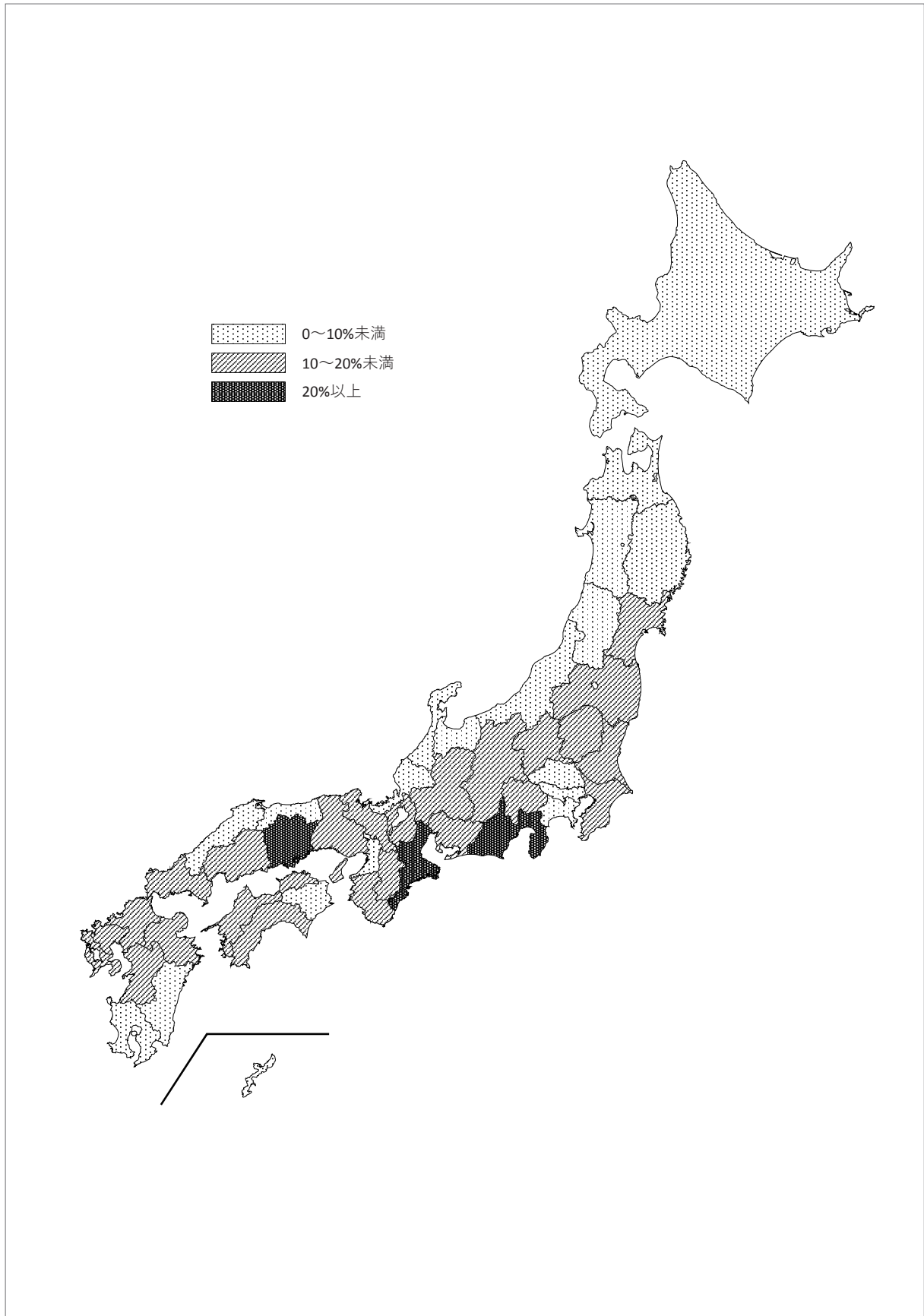


図 全着工新設住宅に占めるプレハブ住宅比率 (都道府県別)

a 一戸建



b 共同建

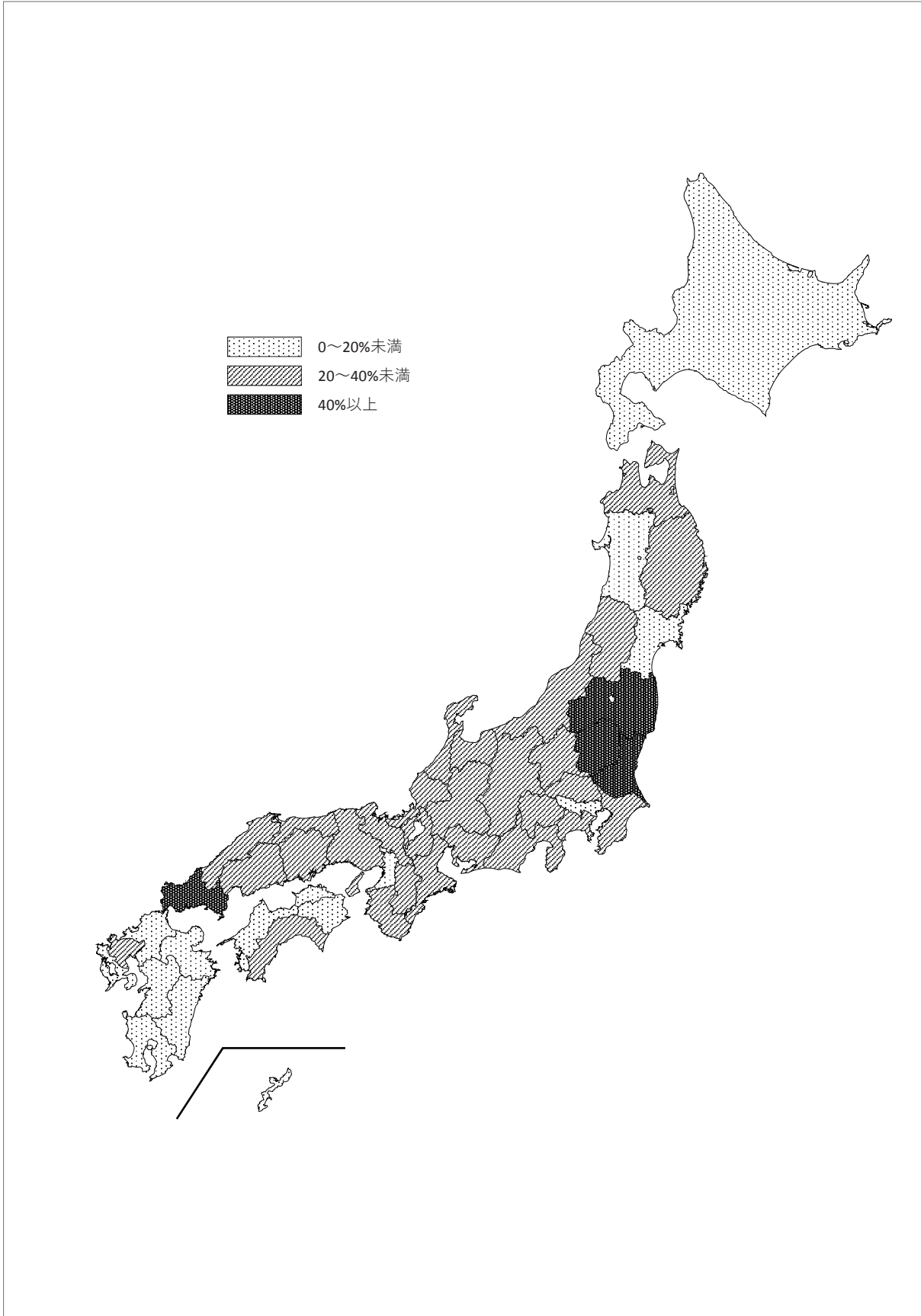
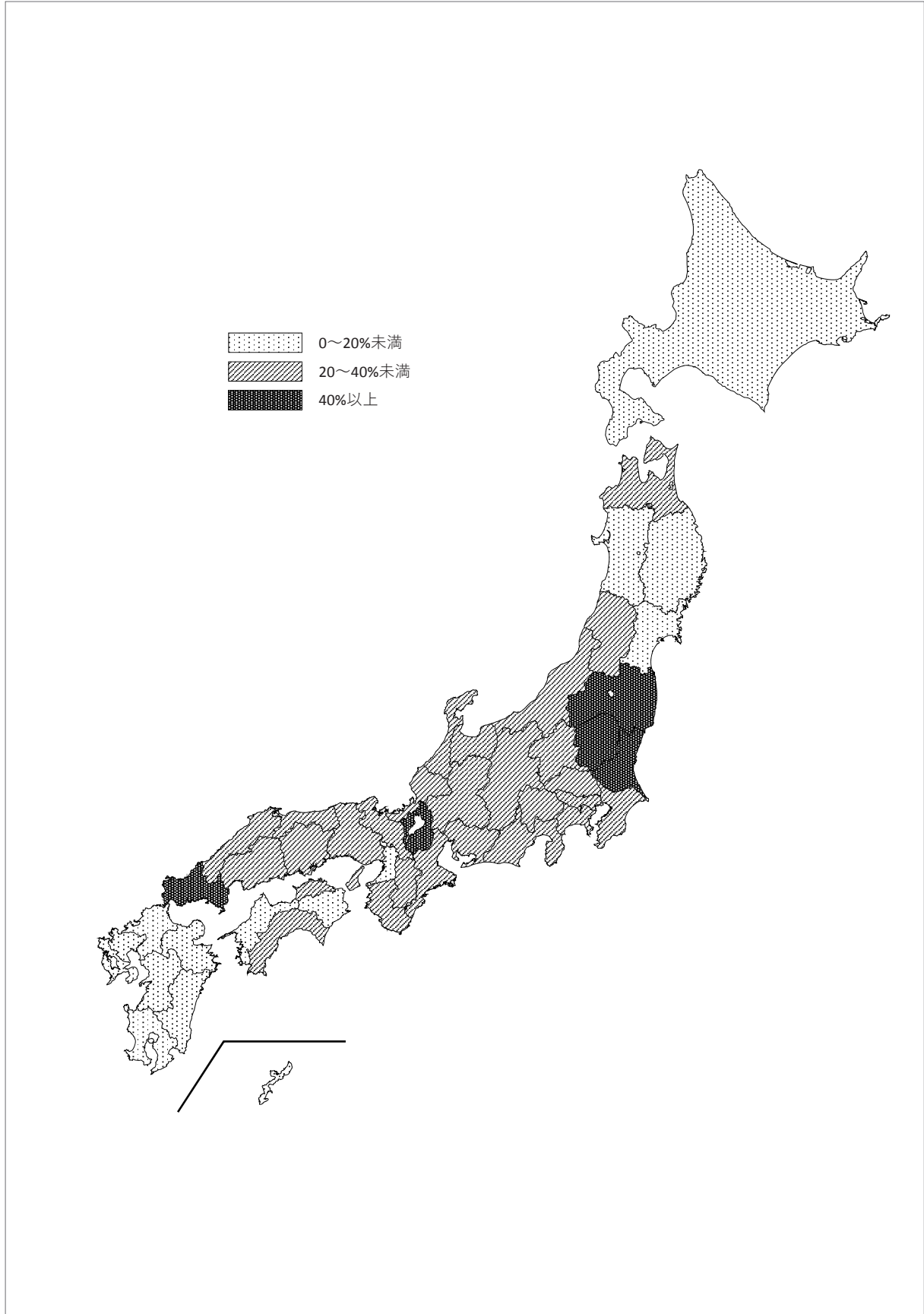


図 全着工新設住宅に占めるプレハブ住宅比率 (都道府県別)

C 賃貸住宅



d 総数

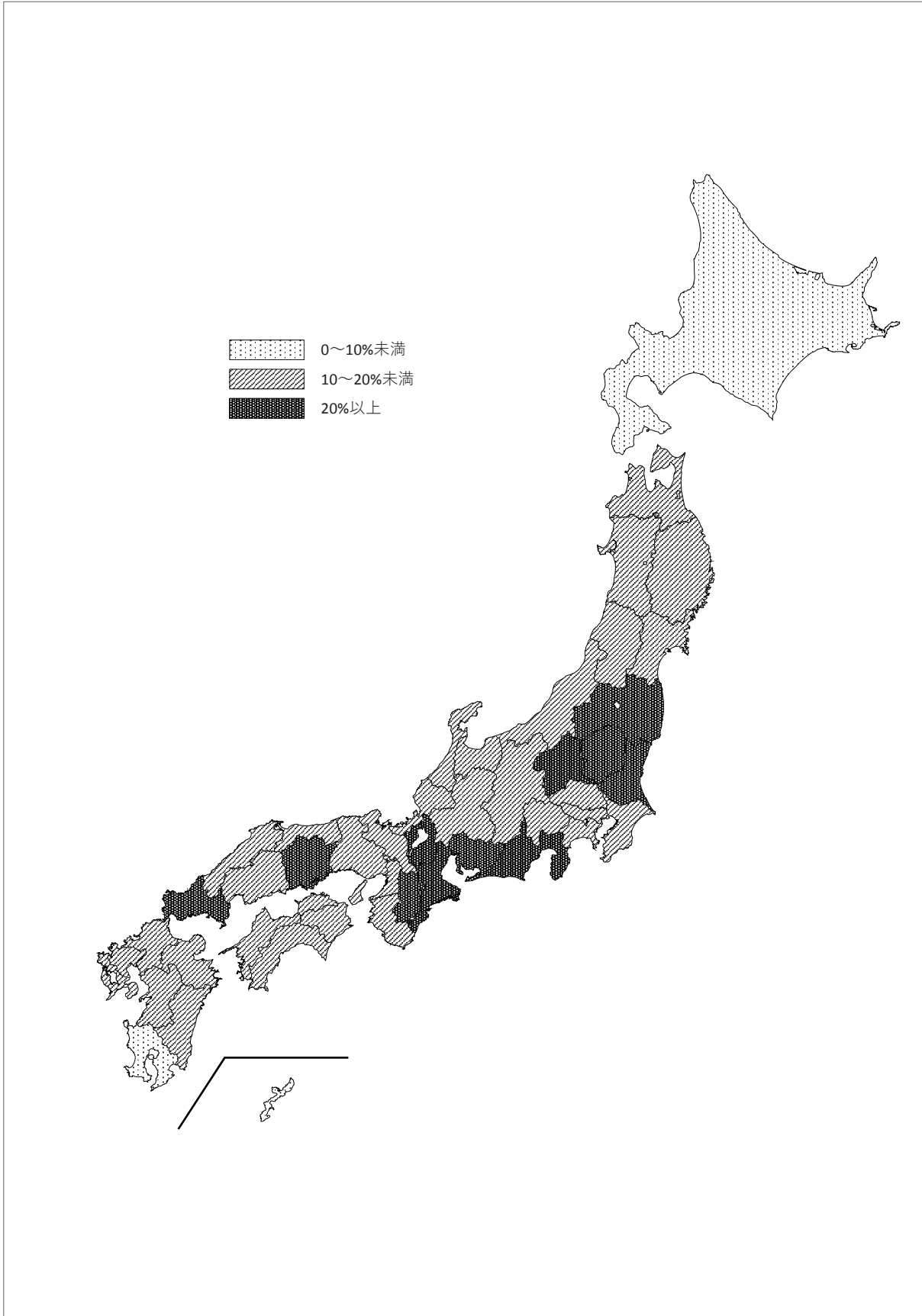


表7 都道府県別、建方別完工（戸数、前年度比、プレハブ住宅比率）

	一戸建				共同建（長屋建を含む）				総数				
	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数※	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	プレハブ住宅完工戸数	前年度比	新設住宅着工戸数	プレハブ住宅比率	
	A		B	A/B	C		D	C/D	E		F	E/F	
全国計	52,177戸	97.2%	426,369戸	12.2%	107,452戸	93.6%	520,027戸	20.7%	159,629戸	94.8%	946,396戸	16.9%	全国計
北海道	1,095戸	102.1%	13,992戸	7.8%	521戸	145.5%	23,070戸	2.3%	1,616戸	112.9%	37,062戸	4.4%	北海道
青森	158戸	98.1%	4,374戸	3.6%	573戸	92.6%	2,080戸	27.5%	731戸	93.7%	6,454戸	11.3%	青森
岩手	388戸	99.2%	4,971戸	7.8%	636戸	115.4%	3,053戸	20.8%	1,024戸	108.7%	8,024戸	12.8%	岩手
宮城	1,345戸	90.3%	9,924戸	13.6%	2,008戸	85.4%	11,249戸	17.9%	3,353戸	87.3%	21,173戸	15.8%	宮城
秋田	217戸	102.4%	2,980戸	7.3%	189戸	77.5%	981戸	19.3%	406戸	89.0%	3,961戸	10.2%	秋田
山形	335戸	98.8%	3,708戸	9.0%	459戸	107.7%	2,260戸	20.3%	794戸	103.8%	5,968戸	13.3%	山形
福島	1,137戸	89.0%	7,961戸	14.3%	2,710戸	68.7%	6,379戸	42.5%	3,847戸	73.7%	14,340戸	26.8%	福島
東北計	3,580戸	92.5%	33,918戸	10.6%	6,575戸	80.8%	26,002戸	25.3%	10,155戸	84.6%	59,920戸	16.9%	東北計
茨城	1,884戸	101.2%	12,654戸	14.9%	3,395戸	82.5%	8,240戸	41.2%	5,279戸	88.4%	20,894戸	25.3%	茨城
栃木	1,403戸	96.6%	8,965戸	15.6%	2,274戸	85.5%	4,415戸	51.5%	3,677戸	89.4%	13,380戸	27.5%	栃木
群馬	1,228戸	103.2%	9,099戸	13.5%	1,795戸	92.7%	5,044戸	35.6%	3,023戸	96.7%	14,143戸	21.4%	群馬
埼玉	2,910戸	96.2%	30,518戸	9.5%	8,184戸	83.9%	28,762戸	28.5%	11,094戸	86.8%	59,280戸	18.7%	埼玉
千葉	2,797戸	100.4%	23,828戸	11.7%	7,335戸	103.9%	27,585戸	26.6%	10,132戸	102.9%	51,413戸	19.7%	千葉
東京	3,129戸	91.9%	32,722戸	9.6%	20,312戸	95.9%	109,213戸	18.6%	23,441戸	95.4%	141,935戸	16.5%	東京
神奈川	2,982戸	99.1%	30,923戸	9.6%	11,299戸	91.9%	43,833戸	25.8%	14,281戸	93.3%	74,756戸	19.1%	神奈川
関東計	16,333戸	97.6%	148,709戸	11.0%	54,594戸	92.5%	227,092戸	24.0%	70,927戸	93.7%	375,801戸	18.9%	関東計
新潟	593戸	96.9%	7,288戸	8.1%	1,056戸	77.8%	4,758戸	22.2%	1,649戸	83.7%	12,046戸	13.7%	新潟
富山	161戸	110.3%	3,735戸	4.3%	717戸	107.2%	2,853戸	25.1%	878戸	107.7%	6,588戸	13.3%	富山
石川	240戸	94.9%	4,491戸	5.3%	1,053戸	102.0%	3,225戸	32.7%	1,293戸	100.6%	7,716戸	16.8%	石川
福井	165戸	92.7%	2,687戸	6.1%	376戸	86.4%	1,188戸	31.6%	541戸	88.3%	3,875戸	14.0%	福井
山梨	577戸	99.8%	3,382戸	17.1%	385戸	112.9%	1,463戸	26.3%	962戸	104.7%	4,845戸	19.9%	山梨
長野	1,207戸	94.8%	8,037戸	15.0%	1,130戸	80.9%	3,983戸	28.4%	2,337戸	87.6%	12,020戸	19.4%	長野
岐阜	1,157戸	96.0%	7,804戸	14.8%	896戸	126.6%	3,551戸	25.2%	2,053戸	107.3%	11,355戸	18.1%	岐阜
静岡	3,086戸	96.6%	15,280戸	20.2%	1,786戸	83.5%	8,309戸	21.5%	4,872戸	91.4%	23,589戸	20.7%	静岡
愛知	5,933戸	96.0%	31,970戸	18.6%	7,032戸	100.5%	30,754戸	22.9%	12,965戸	98.4%	62,724戸	20.7%	愛知
中部計	13,119戸	96.3%	84,674戸	15.5%	14,431戸	95.8%	60,084戸	24.0%	27,550戸	96.0%	144,758戸	19.0%	中部計
三重	1,300戸	97.0%	6,263戸	20.8%	1,024戸	91.3%	3,631戸	28.2%	2,324戸	94.4%	9,894戸	23.5%	三重
滋賀	942戸	97.3%	5,378戸	17.5%	1,388戸	101.5%	3,600戸	38.6%	2,330戸	99.7%	8,978戸	26.0%	滋賀
京都	790戸	83.1%	7,461戸	10.6%	2,165戸	89.9%	7,635戸	28.4%	2,955戸	88.0%	15,096戸	19.6%	京都
大阪	1,952戸	95.8%	20,993戸	9.3%	6,630戸	103.5%	46,655戸	14.2%	8,582戸	101.6%	67,648戸	12.7%	大阪
兵庫	2,102戸	94.1%	15,486戸	13.6%	3,821戸	106.6%	17,958戸	21.3%	5,923戸	101.8%	33,444戸	17.7%	兵庫
奈良	681戸	101.6%	4,329戸	15.7%	798戸	83.0%	2,048戸	39.0%	1,479戸	90.7%	6,377戸	23.2%	奈良
和歌山	475戸	101.1%	3,239戸	14.7%	335戸	89.6%	1,415戸	23.7%	810戸	96.0%	4,654戸	17.4%	和歌山
近畿計	8,242戸	95.1%	63,149戸	13.1%	16,161戸	99.6%	82,942戸	19.5%	24,403戸	98.0%	146,091戸	16.7%	近畿計
鳥取	138戸	115.0%	1,749戸	7.9%	248戸	91.2%	1,194戸	20.8%	386戸	98.5%	2,943戸	13.1%	鳥取
島根	95戸	130.1%	1,843戸	5.2%	344戸	108.5%	1,485戸	23.2%	439戸	112.6%	3,328戸	13.2%	島根
岡山	1,395戸	90.6%	6,579戸	21.2%	1,998戸	97.4%	6,791戸	29.4%	3,393戸	94.5%	13,370戸	25.4%	岡山
広島	1,236戸	100.7%	8,612戸	14.4%	2,622戸	124.6%	12,458戸	21.0%	3,858戸	115.8%	21,070戸	18.3%	広島
山口	788戸	89.1%	4,341戸	18.2%	1,522戸	90.9%	3,537戸	43.0%	2,310戸	90.3%	7,878戸	29.3%	山口
中国計	3,652戸	95.0%	23,124戸	15.8%	6,734戸	104.9%	25,465戸	26.4%	10,386戸	101.2%	48,589戸	21.4%	中国計
徳島	198戸	107.0%	2,478戸	8.0%	305戸	70.6%	2,286戸	13.3%	503戸	81.5%	4,764戸	10.6%	徳島
香川	395戸	96.3%	3,557戸	11.1%	673戸	94.4%	3,389戸	19.9%	1,068戸	95.1%	6,946戸	15.4%	香川
愛媛	562戸	99.3%	4,275戸	13.1%	422戸	74.3%	3,269戸	12.9%	984戸	86.8%	7,544戸	13.0%	愛媛
高知	227戸	116.4%	1,817戸	12.5%	350戸	98.9%	1,438戸	24.3%	577戸	105.1%	3,255戸	17.7%	高知
四国計	1,382戸	101.9%	12,127戸	11.4%	1,750戸	84.7%	10,382戸	16.9%	3,132戸	91.5%	22,509戸	13.9%	四国計
福岡	1,813戸	95.6%	14,850戸	12.2%	3,138戸	79.6%	26,688戸	11.8%	4,951戸	84.8%	41,538戸	11.9%	福岡
佐賀	384戸	115.7%	2,797戸	13.7%	520戸	92.0%	2,577戸	20.2%	904戸	100.8%	5,374戸	16.8%	佐賀
長崎	361戸	97.8%	3,393戸	10.6%	440戸	91.7%	4,004戸	11.0%	801戸	94.3%	7,397戸	10.8%	長崎
熊本	1,012戸	145.6%	9,449戸	10.7%	1,173戸	129.5%	6,962戸	16.8%	2,185戸	136.5%	16,411戸	13.3%	熊本
大分	445戸	93.9%	3,371戸	13.2%	473戸	97.5%	3,605戸	13.1%	918戸	95.7%	6,976戸	13.2%	大分
宮崎	300戸	97.7%	3,990戸	7.5%	436戸	99.5%	2,946戸	14.8%	736戸	98.8%	6,936戸	10.6%	宮崎
鹿児島	375戸	95.4%	5,689戸	6.6%	304戸	65.5%	4,360戸	7.0%	679戸	79.2%	10,049戸	6.8%	鹿児島
沖縄	84戸	116.7%	3,137戸	2.7%	202戸	107.4%	13,848戸	1.5%	286戸	110.0%	16,985戸	1.7%	沖縄
九州・沖縄計	4,774戸	105.2%	46,676戸	10.2%	6,686戸	89.5%	64,990戸	10.3%	11,460戸	95.4%	111,666戸	10.3%	九州・沖縄計

※国土交通省「建築着工統計調査」（2017年度）



□ 2017年度のプレハブ住宅生産能力は、生産工場数が130工場、生産能力戸数が291,001戸であった。

□ 2016年度と比較して、工場数で6工場の増加。生産能力戸数で17,310戸の増加となった。

□ 生産能力戸数の構成比を構造別にみると、木質系16.6%、鉄鋼系63.3%、コンクリート系低層0.8%、コンクリート系中高層19.2%であった。

(上段：戸数)
(中段：工場数)
(下段：地域比)

表8-1 プレハブ住宅生産能力 (2018年3月31日現在)

		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州 沖縄	全国	構造比 ※2
木質系	能力	430戸	540戸	10,870戸	25,930戸	-	4,920戸	1,440戸	4,280戸	48,410戸	16.6%
	工場数	1	1	5	3	-	4	1	3	18	
	地域比※1	0.9%	1.1%	22.5%	53.6%	-	10.2%	3.0%	8.8%	100.0%	
鉄鋼系	能力	800戸	11,478戸	64,489戸	29,940戸	47,956戸	20,264戸	-	9,350戸	184,277戸	63.3%
	工場数	1	3	8	7	7	3	-	3	32	
	地域比	0.4%	6.2%	35.0%	16.2%	26.0%	11.0%	-	5.1%	100.0%	
コンクリート系 低層	能力	240戸	-	208戸	1,012戸	-	850戸	-	-	2,310戸	0.8%
	工場数	1	-	5	4	1	2	1	1	15	
	地域比	10.4%	-	9.0%	43.8%	-	36.8%	-	-	100.0%	
コンクリート系 中高層	能力	3,874戸	3,431戸	26,474戸	8,182戸	5,671戸	957戸	866戸	6,549戸	56,004戸	19.2%
	工場数	3	5	25	10	8	2	2	10	65	
	地域比	6.9%	6.1%	47.3%	14.6%	10.1%	1.7%	1.5%	11.7%	100.0%	
合計	能力	5,344戸	15,449戸	102,041戸	65,064戸	53,627戸	26,991戸	2,306戸	20,179戸	291,001戸	100.0%
	工場数※3	6	9	43	24	16	11	4	17	130	
	地域比	1.8%	5.3%	35.1%	22.4%	18.4%	9.3%	0.8%	6.9%	100.0%	

- ※1 地域比は総生産能力に各地域が占める割合。
- ※2 構造比は総生産能力に各構造が占める割合。
- ※3 合計の工場数は、構造毎の工場数を単純に合計したもの。
- ※4 木質・鉄鋼重複の工場はそれぞれ1とカウントしている。
- ※5 コンクリート系低層とコンクリート系中高層の重複工場はそれぞれ1とカウントしている。

表8-2 プレハブ住宅生産能力推移 (2018年3月31日現在)

(上段：戸数)
(下段：工場数)

		2013 年度	構造比 ※1	2014 年度	構造比	2015 年度	構造比	2016 年度	構造比	2017 年度	構造比
木質系	能力	37,570戸	14.7%	38,990戸	15.1%	39,950戸	15.1%	39,980戸	14.6%	48,410戸	16.6%
	工場数	18	15.8%	19	17.3%	20	16.5%	20	16.1%	18	13.8%
鉄鋼系	能力	172,753戸	67.7%	170,057戸	66.0%	169,204戸	64.0%	180,078戸	65.8%	184,277戸	63.3%
	工場数	33	28.9%	31	28.2%	32	26.4%	32	25.8%	32	24.6%
コンクリート系 低層	能力	2,406戸	0.9%	2,416戸	0.9%	2,816戸	1.1%	2,916戸	1.1%	2,310戸	0.8%
	工場数	12	10.5%	12	10.9%	13	10.7%	14	11.3%	15	11.5%
コンクリート系 中高層	能力	42,365戸	16.6%	46,254戸	17.9%	52,556戸	19.9%	50,717戸	18.5%	56,004戸	19.2%
	工場数	51	44.7%	48	43.6%	56	46.3%	58	46.8%	65	50.0%
合計	能力	255,094戸	100.0%	257,717戸	100.0%	264,526戸	100.0%	273,691戸	100.0%	291,001戸	100.0%
	工場数※2	114	100.0%	110	100.0%	121	100.0%	124	100.0%	130	100.0%

- ※1 構造比は各構造が合計に占める割合。
- ※2 合計の工場数は、構造毎の工場数を単純に合計したもの。

(参考) 災害時における応急仮設住宅の建設

当協会は、地震、風水害などの自然災害で被災された方々に一刻でも早く応急仮設住宅を供給できるよう全都道府県知事と当協会長との間で「災害時における応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結している。災害救助法が適用された都道府県知事からの応急仮設住宅の建設要請を受け、当協会は当該都道府県知事に対し会員会社を斡旋している。2016年度は、熊本県2市6町2村に3,605戸（熊本地震）、岩手県岩泉町に171戸（台風10号災害）を建設した。

なお、2017年度の建設実績はゼロであった。

表9 災害時における応急仮設住宅の建設実績

	2011 年度	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度
岩手県	11,379戸	福岡県 25戸	山口県 40戸	長野県 35戸	沖縄県 3戸	岩手県 171戸	-
宮城県	21,572戸		鹿児島県 25戸		鹿児島県 27戸	熊本県 3,605戸	-
福島県	10,004戸		東京都 46戸				
栃木県	20戸						
千葉県	230戸						
長野県	55戸						
奈良県	57戸						
和歌山県	44戸						
	43,361戸	25戸	111戸	35戸	30戸	3,776戸	0戸

(注) ・上記の戸数は、プレハブ住宅完工戸数には含まれていない。
 ・年度区分は、災害発生年度としている。